

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

菊陽町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

熊本県菊池郡菊陽町

### 3 地域再生計画の区域

熊本県菊池郡菊陽町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の人口は 1970 年代から 40 年以上にわたって増加が続いており、1975 年に 13,138 人であった人口は、2015 年の国勢調査では 40,984 人となり、2021 年 4 月末の住民基本台帳人口は 42,981 人となっている。

自然動態については、近年、年間500人前後の出生数を維持しながら、継続的に出生数が死亡数を上回り、2020年には215人の自然増にある。

社会動態については、大規模な住宅開発に起因し、特に1976年と2004年にはそれぞれ2,591人、2,999人の転入者がある等、転出者を差し引いた社会増減において転入超過の傾向が続いており2020年には326人の社会増となっている。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後も人口は増加し続ける見込みであり、2040 年には 49,217 人となる見込みである。0 歳から 14 歳までの年少人口は、2015 年には 7,286 人（構成比 17.8%）だったが、国立社会保障・人口問題研究所の推計では 2040 年に 7,869 人（構成比 16.0%）、15 歳から 64 歳までの生産年齢人口は、2015 年には 25,673 人（構成比 63.1%）だったが、同推計では 2040 年に 28,119 人（構成比 57.1%）と、年少人口及び生産年齢人口の人数は増加するがその割合が減少する見込みである。一方、65 歳以上の老年人口は、2015 年には 7,696 人（構成比 18.8%）だったが、2040 年には 13,229 人（構成比 26.9%）まで増加する見込みである。

このように、2040年まで当面の間、人口増加は続くものの、将来的には年少人口割合及び生産年齢人口割合の減少や老年人口割合の増加が見込まれており、こ

れまでのような人口増加による町の経済の成長や発展が停滞していくことも見据える必要がある。

こうした課題にいち早く対応するため、本計画期間中、次に掲げる基本目標を実現するための施策を推進し、本町に更に「しごと」が生まれ、「ひと」が集い、活気あふれる「まち」づくりを目指す。

- ・基本目標 1 菊陽町にしごとをつくる
- ・基本目標 2 ひとが集い賑わう魅力的なまちをつくる
- ・基本目標 3 子育て世代、高齢者が安心して暮らせるまちをつくる
- ・基本目標 4 地域の連携により、更なる好循環をつくる

#### 【数値目標】

| 5-2の<br>①に掲げ<br>る事業 | K P I                  | 現状値<br>(計画開始時点) | 目標値<br>(2024年度) | 達成に寄与する<br>地方版総合戦略<br>の基本目標 |
|---------------------|------------------------|-----------------|-----------------|-----------------------------|
| ア                   | 2024年度の人口に対する生産年齢人口の比率 | 61.7%           | 61.4%           | 基本目標 1                      |
| イ                   | 2024年度の人口              | 42,368人         | 45,538人         | 基本目標 2                      |
| ウ                   | 出生数（4年間累計）             | 2,034人          | 1,884人          | 基本目標 3                      |
| エ                   | 2024年度までの新規連携事業数       | 15事業            | 16事業            | 基本目標 4                      |

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

菊陽町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 菊陽町にしごとをつくる事業

- イ ひとが集い賑わう魅力的なまちをつくる事業
- ウ 子育て世代、高齢者が安心して暮らせるまちをつくる事業
- エ 地域の連携により、更なる好循環をつくる事業

## ② 事業の内容

### ア 菊陽町にしごとをつくる事業

町内の企業や事業者を支援し、「しごと」を創り出すことにより、働く「ひと」を呼び込む事業

#### 【具体的な事業】

- ・企業誘致等の促進による働く場所の確保
- ・菊陽町物産品の販路拡大
- ・優良農地の保全と担い手への農地の集積・集約化 等

### イ ひとが集い賑わう魅力的なまちをつくる事業

「まち」に「ひと」が集い、住む人が「住んでよかった」と思える、活気のあるまちをつくる事業

#### 【具体的な事業】

- ・英語教育の充実、情報通信端末を活用した ICT 教育の充実
- ・自治体における D X (デジタル・トランスフォーメーション) の推進
- ・商業施設や商店街の振興によるまちの賑わい創出
- ・JR 新駅の設置と周辺整備
- ・アーバンスポーツの推進 等

### ウ 子育て世代、高齢者が安心して暮らせるまちをつくる事業

若い世代が安心して妊娠・出産・子育てをしやすいまち、高齢者が安全で元気に暮らせるまちをつくる事業

#### 【具体的な事業】

- ・J R 原水駅周辺のまちづくり
- ・保育サービスの向上と地域における子育て支援の充実
- ・児童・生徒の増加にも対応した学校環境整備
- ・健康ポイント事業を活用した健康づくりの支援
- ・オールドニュータウン再開発事業の推進 等

### エ 地域の連携により、更なる好循環をつくる事業

県、他市町村、民間企業等と事業の連携を行い、施策の効率性・有効性を高める事業

【具体的な事業】

- ・巡回バス、乗合タクシー等、公共交通サービスの充実
- ・ＪＲ光の森駅前横断歩道橋の整備による交通安全確保
- ・ＪＲ三里木駅の周辺環境整備の検討 等

※ なお、詳細は第２期菊陽町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（ＫＰＩ））

４の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

570,814 千円（2021 年度～2024 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（ＰＤＣＡサイクル）

毎年度９月頃に外部有識者が参画する「菊陽町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」においてＫＰＩによる進捗状況の把握と効果検証を行い、必要に応じて施策や事業の追加・見直し等を行う。また、検証後速やかに本町公式ＷＥＢサイトで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

## 6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで